

高齢者配食サービス 事業について

一食 700 円の弁当代は高い。 市は補助金を増やし利用者負担を減らせ

市川えい子議員の6月定例議会の一般質問
の要旨をお知らせします

市川 市が実施している「高齢者配食サービス」の一食の弁当代は700円である。最近のスーパー等の弁当からみても非常に高い。高齢者の生活は、医療や介護保険の負担が増え、年金は増えないため苦しくなっている。他市も同じように配食サービスの制度があるが、一食の弁当代は350円～400円と利用しやすい金額である。日本共産党市議団は何度もこの問題を取り上げてきたがいまだに700円のままである。高齢者の安否確認がこの制度の目的であるが利用者は年々減ってきている。一食当たりの金額を引き下げ、安否確認や自立支援が必要な高齢者の利用をもっと高めるべきである。

委託業者にコストダウンの要請をしている

市長 食事サービスに関する費用負担の基本的な考え方は、食材料費や調理に要する費用は、受益者負担の公平性などから、利用者負担が原則であり、見守りや配達等に要する経費については福祉的な配慮から公費負担により行うものと認識している。そのような中で、利用者負担の引き下げについては現在委託業者にコストダウンの要請を行っているのでその結果により判断していく。

羽村市と他市の状況は？ 近隣自治体で一番高い羽村市

| | 一食 | 本人負担 | 市負担 | 平成22年度 配食見込み数 |
|-------|-------|------|-------|------------------|
| 羽村市 | 850円 | 700円 | 150円 | 8820食 |
| 青梅市 | 700円 | 350円 | 350円 | 14900食 |
| 福生市 | 2000円 | 350円 | 1650円 | 6000食 |
| あきる野市 | 800円 | 600円 | 200円 | 4900食 |
| 瑞穂町 | 770円 | 400円 | 370円 | 3000食 |

利用者負担の引き下げを業者の営業努力頼みだけでは市の責任は果たせません。市は補助金を増やすべきです。

羽村市の配食サービス年間利用数の推移

| | |
|-------|--------|
| 平成16年 | 14371食 |
| 平成17年 | 12708食 |
| 平成18年 | 9168食 |
| 平成19年 | 7990食 |
| 平成20年 | 7373食 |

左表のように配食数が毎年減り続けています。



無料法律相談

いつ 7月13日(火)
時間 午前10時から
場所 日本共産党羽村市委員会
(富士見小学校前)
予約が必要です

上表の福生市の市負担額が多いのは福生市は社会福祉協議会に委託しているため人件費の負担が計上されています。

高齢者配食サービス事業

目的 在宅でひとり暮らしの高齢者等に食事を配食することにより、高齢者の安否確認健康保持及び自立支援を行い、もって高齢者の在宅福祉の向上に寄与することを目的とする。

対象者 60歳以上で市内在住の虚弱なひとり暮らしおよび高齢者のみ世帯
一食700円。

配食日 月・火・水・木・金・土(祭日は除く)

配食内容 夕食(16時30分～17時30分に配達)

手続き 申請書提出後、訪問調査を行い、利用の可否を決定する。